

ちょっとした、得する！耳寄り情報

Vol.10

てんこもり



発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739

てんこもりは、ぎふ清流国体、
ぎふ清流大会、第30回全国豊か
な海づくり大会を応援します！



メニュー その1 ぎふ清流国体を 成功させよう

今回から西暦2012年に開催される、「ぎふ清流国体」のマスケットキヤラクター「ミナモ」そして来年開催される、全国豊かな海づくり大会「ヤマリン」をてんこもり新聞に掲載させていただけることとなりました。白川町のぎふ清流国体に向けての取り組み

みについて紹介させていただきます。

白川町での開催競技種目は、クレー射撃とライフル射撃です。実際のライフルとピ



ームライフル射撃があります。チームライフルは一般の人でも扱えるため、これまでに町内学校等で体験教室を開催しました。一般の体験講座を十月二十四日に開催しますので、是非経験してみたいかどうか。



ぎふ清流国体の成功を祈り、町民の意識を高めるために、国体花飾り運動を実施していきます。六十五自治会の皆さんが中心となって道路沿いなどに花壇やプランターを設置し、啓発看板やそれぞれ工夫を凝らした花飾りを作っています。国体に向けた熱意が伝わってくるようです。

これから10年前はどんな年だったか覚えていますか？調べますと、松坂大輔投手がプロ初登板を果たした年だそうです。そして10年後の今年、日本道路協会から「道路土工切土・斜面安定工指針(平成21年度版)」が販売開始されました。いわゆるバイブルの全面的改定です。これをトピックとして、国土環境緑化協会連合会による技術講習会(無料)が企画されたそうです。講師には、新指針の執筆者が含まれているそうです。大変貴重な機会と思いますので、ぜひ読者の皆さんも講習会に参加され、質問してみたら面白いと思います(参加申込書は、てんこもり編集部にもあります)。さて、私事ではありますが、旧斜面安定工指針にはずいぶんお世話になりました。そして、新しい指針にも慣れたいかなくてはいいけません。この道路土工シリーズ、今年が続々と改訂される予定とのことで、第一弾が「切土・斜面安定工指針」の発売だそう

メニュー その2 てくにく の種

です。大きな改訂内容として次のようなものがあります。まず、盛土に関する記述は盛土工指針として別冊になり、対象範囲が切土のり面、自然斜面になりました。また、調査、設計、施工・維持管理について、旧版では各章ごとに個々の工程の内容を記述してあり、ある意味分散されているので使いにくい指針でしたが、新しい指針では、使いやすくなっています。細かいところでは、ライフサイクルコストの最小化という観点や、地山補強土工における施工時の安定性、待ち受け擁壁工における衝撃土砂荷重考慮、欠円形の吹付砕工の記載、岩盤崩壊や落石の記述の格上・等等、近年の新技术を導入しやすい改訂になっています。

講習会のご案内

日時：10月23日(金)
13:00(受付12:30)
会場：テクノプラザ本館4階
「プラザホール」
申し込み方法：FAX
(先着100名、10月15日締切)
問い合わせ先：052-773-4891
CPD認定プログラム

b y F A T かとう

b y 土井

1 1 推進室 0574(72)13

ユ3
その
メ

岐阜県で西国
三十三箇所巡り？

白川町切井地内に、やすらぎの里公園というところがあります。ここは、西暦千八百年頃、西国三十三箇所の観音を深く信仰し、三度も観音巡りをした地元の大西家の隠居、山口亀助さんが、それぞれの地で砂を乞うて帰り、この地で三十三箇所に通った地形の場所を求め、その砂を納めて石仏の観音像を安置して巡拜できるようにしたものです。大西家の隠居の亀助さんが建てた事から、誰言うことなく、隠居山観音と呼ばれるようになり、現在、やすらぎの里公園という名前で整備されています。一番から三十三番までのそれぞれの観音像は、大きな石の祠にたたずんでいます。毎年お祭りも行なわれ、今年八月十日に予定されています。



す。ぜひ巨岩が並ぶ神秘の観音めぐりに参加されてはどうでしょうか。西国三十三箇所を巡る旅は何日もかかりますが、この三十三箇所巡りは一日もかからず、ありがたい御利益があると思います。ちなみに西国三十三番目は唯一、岐阜県谷汲山華厳寺です。ご存知でしたか？ お問い合わせ 白川町観光協会 0574(72)1311 by土井

ユ4
その
メ

おいしいお店
紹介



今回は、
可児市の「割烹 味と」を紹介いたします。
またの名を「かくれ家あじと」と呼ばれるとても大人の雰囲気のお店です。私の友人のご推薦ということで

れる料理の味は文句なし、それがまた美しい皿に美しく盛り付けられており目で食を楽しむということも教えていただきました。
取材させていただいた日は予約のお客様でいっぱい、かなり忙しい状態にもかかわらず終始笑顔で対応され、なおかつお客様一人一人への細かな気配りをされている料理長の遠山さんには、プロとは何かを教えられました。店を出る際も丁寧に見送っていただきとても心地よい時間を過ごさせていただきました。是非、読者の皆様もこの心地よさを体験してみてください。「味と」0574(63)7208 by藤井



ユ5
その
メ

森の楽園紹介

「せせらぎ街道四季の郷」を紹介いたします。当楽園は、郡上市から国道472号(一部、飛騨美濃有料道路)を経て高

山市へと通じる、通称「せせらぎ街道」沿いに位置し、この一帯が「せせらぎ渓谷県立自然公園」となっています。みどころポイントは、3コースあり太平洋側の「大原遊歩道」は、道の駅「パスカル清見」のホテル横の里山を巡るコースで、コナラやクリなどの人里の生活に馴染み深い樹木を見ることが出来ます。一方、分水嶺の「西ウレ峠遊歩道」は、清流馬瀬川の源流と



「西ウレ峠遊歩道」



「おおくら遊歩道」

側の「おおくら遊歩道」は、大小の滝や、くぐり岩などの奇岩を巡り最上部

置き、ブナやミズナラなどの原生林を散策することが出来るコースです。また、日本海

今回の「てんこもり」いかがでしたでしょうか？今回も私達が、最近気になった事や楽しかった事、ちょっと得しそうな事等を紹介させて頂きました。また読者の皆様からも、色々なニュースの紹介をお待ちしております。(自慢話、おいしい・楽しいスポット紹介、サークル紹介等どんなことでも結構です。)写真をつけてくだされば最高です！こちらまでご連絡下さい。丸又産業株式会社「てんこもり」編集部 責任者 藤井TEL0574-72-1318 FAX 0574-72-2739 s-fujii@marusu21.co.jp



の大倉滝への溪流沿いを巡ることが出来るコースです。このように、当森の楽園は、アクセスも極めて良く、治山施設として防災機能を持ちながら、地元のみならず都市近郊からの観光客の皆様が四季を通じて楽しむことが出来るフィールドを提供してくれています。
これからの時期、美しい紅葉が目を楽しませてくれます。読者の皆様も癒されてみては如何でしょうか。お問い合わせ 0577(68)2211(3232) by藤井